

事業者の④ごみ減量テクニック教えます！

事業者のごみ減量の取り組みって？

みんなは普段、ごみの減量に取り組んでいるけれど、区内ではたらく人たちもごみの減量に取り組んでいるんだ。区内の事業者がどんな風にごみの減量をしているのか教えるね。

今回は『森永乳業株式会社東京工場』の取り組みを紹介するよ！



取り組み紹介（一部）



↑まとめたごみは色分けテープを使って誰でも正しく分別できるよう工夫しているよ。



↑ごみの分別フローチャートを使って複雑な分別作業を効率化しているよ。

森永乳業さんがごみ減量に取り組んだ結果・・・

2016年度廃棄物量前年度比

約**500**トン減少！

2016年度リサイクル率

98.8%を達成！

社員一人ひとりの小さな行動の積み重ねによって、ごみ減量に成功したんだね！

かつしかごみ減量・リサイクル推進協議会事業者活動部会では、事業者の皆さんが実施しているごみ減量やリサイクルの取り組みを広くPRしています。また、詳しい内容について区公式HPで紹介しているよ。
森永乳業さん、ご協力ありがとうございました！



この紙 資源になるのかな？

新聞・段ボール・紙パックは資源だけど他の紙類はどうだろう？

森永乳業さんのものを参考に、
家庭でも簡単に雑紙(ざつがみ)の分別ができる
チャートを作成しました。

紙類をごみに出す前に確認してみよう！

Yes は燃やすごみとして、**No** は資源として、それぞれお出してください。

①匂いや汚れのついた紙類ですか？

No

②防水加工・特殊な紙類ですか？

No

③紙類以外が混ざっていませんか？

No

Yes

線香の箱など匂いが強くついたもの、使用済みティッシュ・ピザの箱など油・においがついたものは匂いや汚れが残ってしまうため、資源として適しません。

Yes

写真や宅配の伝票など防水・特殊加工された紙類は水に溶けにくく、リサイクルの過程でうまく混ざらないため、資源として適しません。

Yes

ティッシュの箱やカレンダーなどに金具やビニール部分がある場合は、取り外してから資源の日にお出してください。

資源としてお出してください。

※雑紙(ざつがみ)とは、資源回収の日に出すことで、段ボール、新聞、雑誌、本、紙パックと同様に資源としてリサイクルされる紙類のことを言います。

集めた雑紙はどうなるの？

→雑紙として出された紙類は、トイレットペーパーやノートなどに生まれ変わります。

